

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	カメレオン大橋	公表日	2026年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	未回答2 1
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	法人代表が研修参加や資格取得に対応
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	発達、特性、全体像を理解しながら、できる/できないではなく、支援の工夫、環境で個々の力を伸ばしていく
適	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	項目は設定されているが、移行支援、地域支援・地域連携には不足を感じる

切 な 支 援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2		内容をその子ができる/できない分けて考えるのはなく、なるべく多くの体験ができるよう、また興味があれば深くさぐっていけるような工夫をしていきたい
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前の朝礼(昼礼)を徹底して行う 児童の支援記録を毎度残す 事前の話し合いはその都度行っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援の質を保つためにも、職員が心身共に余裕をもって働けるよう、勤務・退勤時間を守りつつ、緊急性・安全配慮が必要な場合は、その日に共有や記録・打ち合わせを行い、次の日で良ければ朝礼(昼礼)にて行う	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			定期的に振り返り、日々の小さな気づきもキャッチできるように努めていきたいと思う
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングは行えている	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	どちらがいいのかの声掛けや、言葉では難しい子どもには、絵カードや実物を見せてジェスチャー等で伝わりやすいように心がけ工夫している	自己決定・自己選択できるように環境を整える、任せる、経験を重ねる、失敗も遠回りも立派な成長
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		他のスタッフの意見なども聞いた上で、参加をしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		学校・放課後等デイサービス共に不登校児童がいる状況があり、事業所単独では力不足感じている
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			送迎時の連絡で情報を共有していってますが、個人的にはこちら側から積極的にたずねていけるようにしたい
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		未回答 1 3	現在：対象児童なし	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		未回答 1 3	現在：対象児童なし	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		必要があるときには助言や研修を受けたいと思う
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	同じ社内の他事業所との年間イベントなどで交流の場を設けている 地域の公園などで、できる範囲で他児童とも交流できたらと思う	今後のためにも交流するところを考えたい
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		4		自立支援協議会がどうなっているのか分からぬ
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の送迎時にお互いに伝え合えるように努めている 連絡帳やLINE等で子供の状況を日々共有できるようにしている	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		必要に応じて、研修内容によっては保護者の方にも情報をお知らせするよいと思う
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			保護者との面談・連携を大切にしながら、今後は子どもたち言葉だけでなく、表情や行動から気持ちを受け止められるやりや、一人ひとりの声を直接聞く機会を設け、より本人主体の支援につなげていく

保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			一步踏み込んだ深い内容については保護者の方との信頼関係を築いていくことが大切と思うので、日々子どもたちを通した関係性を深められるように努めたい
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		今後は開催や交流の機会が必要と感じている保護者会を今後開催することを計画・検討する
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			問題をスタッフ同士共有し、最善を尽くせるように努めたい
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		月1回の通信を発行している	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	地域に対しての広報活動を会社と話し合って決める	地域とのつながりは、今後の課題でもあるので考えていきたい
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			行っているが、今後保護者の方にも分かりやすい伝え方を検討していきたい 昨年できなかったことは、今年計画する
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		定期健診受診等医療機関に行った際、薬の変更、増減、用法(頓服含め) 保護者から共有いただく	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	未回答 1	現在：対象児童なし 事前アセスメントで確認	アセスメントで聞き取りは行い、現在食物アレルギーの子どもはない 必要に応じて対応していく
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			作成され訓練等は行われているが、個人的にも定期的に見直しができるよう心がけたい
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		取り組み内容を見直して連携が図れるよう、話し合いをして改善できるところを拾い上げたい 計画までは周知できていないので、方法を考えたい
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		スタッフ同士、意識を共有できるよう話合っている	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			日々の活動の中で疑問に思うことがあつたら小さなことでも話せるような環境であるように心がけていきたい
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			